

令和6年度特別支援教育学習会

令和6年8月8日に川崎町勤労青少年ホームにて特別支援教育学習会を開催しました。株式会社Like Labの高橋知義先生（作業療法士）を講師にお招きし、発達障がいのある子ども達の特性や支援、具体的な指導方法についてお話ししていただきました。幼稚園、小学校、中学校、高等学校の先生方や放課後等デイサービスの職員の方々など幅広くご参加いただきました。

学習会テーマ

「発達障がいの理解と対応～クラスの児童・生徒へ『分かった』『できた』を届げるために～」



○事後アンケートより○

- ・子供からの目線で捉えた行動、なぜそうってしまったのかを分かりやすく話してくれ、また有効な手立て等も説明してくれ、分かりやすかった。
- ・たくさんの支援方法を教えて頂き勉強になりました。
- ・これまでの授業を振り返り、改善するヒントをいただいた。
- ・お話を聞いて、特性を理解した上で、実践してみようと思いました。
- ・今年初めて、特別支援学級の担任になり、勉強の進め方が分からなかったり、なんで困っているのか分からなかったりすることが多くありました。今日の講義で、どうして子どもが席を立ってしまうのか、それを改善するためにどう対策をすれば良いのかがわかりました。また、学習の進路を児童に伝えるために、見える化を使うと、伝わりやすく、動きやすいということがわかりました。2学期から取り組んで行きたいと思います。
- ・これからの子どもの指導・支援にとっても役立つものだった。文献やアプリなどのQRコードを載せてもらっていたので、すぐにアクセスできて参考になった。